

中澤省一郎のSS経営メールマガジン No.57

(配信は不定期です。できる限り月1回以上は配信します)

第一部 コスモの油田開発促進とJXの高級潤滑油生産の海外移転 キーワード「投資は全て海外」

(1) 昨日(21日)の日経新聞に「コスモ、中東・南米で石油権益 スペイン大手と提携」の記事が掲載されました。内容は

- コスモ石油はスペイン石油大手のCEPSA(セブサ)と「原油・天然ガス開発で業務提携」することで基本合意した。
- セブサはコスモの筆頭株主であるIPIC(アブダビ石油公社)の100%子会社である。
- 両社は包括業務提携—石油開発に加えて、(海外での)石油精製、石油化学など幅広く共同事業を検討する。
- 13年度の営業利益見通し520億円のうち原油開発事業は約9割を占める見通し。

以下、時系列で並べます。

- 12月24日には「2月28日に(唯一の収益源である)石油開発部門を分社化」と公表。
- 1月21日 IPIC100%子会社のセブサと「原油・天然ガス開発で業務提携」
- 2月28日(唯一の収益源である)石油開発部門を分社化
- 3月31日が決算日です。

『石油開発子会社』の価値を大きくする = 譲渡価格を大きくする

通常、「簡易分割」であれば、株主総会決議や債権者保護手続き等が不要ですので、「1ヶ月もあれば十分」なのですが、コスモ石油は2ヶ月を要しています。

- 石油開発子会社の価値を増大させるために2ヶ月が必要だった。(まさしく、セブサとの業務提携)
- 2ヶ月以上だと、3月末までに譲渡できない。⇒3月中の譲渡は絶対条件
- 含み益を「最大限実現」させて、財務を改善する。⇒実質的な債務超過の疑念も払拭 ⇒業界再編へというシナリオだと推測しています。

(2) 18日の日経に「高性能潤滑油、韓国に移管 JXエネ、国内生産を停止」と出ました。

- 高性能潤滑油の生産を韓国に移管する。国内2拠点の生産を打ち切り韓国石油大手SKイノベーションとの共同生産に切り替える
- 低コスト生産と世界の物流網を強みとするSKと組み、「海外進出」する日系メーカーに安定供給する。
- 欧米石油大手を追い上げるには、SKとの協業で量産規模を引き上げ韓国から出荷する方が有利と判断した。
- 生産量は横浜と水島の両ラインの合計量の10倍超の規模
- 製油所の閉鎖以外に高性能品の国内生産を止めるのも異例だ。

従来： 汎用品は海外生産、高機能品は国内生産

JXの判断： 全く逆 ← 高機能品の海外需要の増大 > 高機能品の国内需要 → サムソンとソニーの液晶パネル合併の二の舞いにならないという自信(韓国であり、かつ、SKだから安心ということ?)

- Mobil1も全量輸入 → 国内NO1、2の高級オイルが国内生産から海外生産へ → 日本の高機能オイルの開発・生産は大丈夫か?
- 日本市場は頭打ち → 国内で輸出向けの設備投資はしない。= 国内投資は、「国内需要分のみ」

第二部 石油化学工場からのガソリン出荷

4月以降のJXの室蘭工場の追加説明です。メルマガNO56で記載しましたが、もう少し補足します。

(1) ガソリンの原料は原油ではなく、輸入ナフサと「他の製油所で作られた重油」=原油より安い原料

- 輸入ナフサ ≒ 原油です。ナフサは、石化原料として天然ガス(シェールガスを含む)と競合しているので、多くの場合に原油より安くなっています。
- 国内生産の重油も原油よりも安いです。
- 恐らく、輸入ナフサから作られるガソリンの原価が一番、価格競争力があります。
- 4月以降の室蘭でのガソリン生産 → 他の石化工場でもガソリン生産の可能性が・・・
- 輸入ナフサからのガソリン生産が、元売の収益大幅拡大となる可能性がある。

(2) ガソリン、灯油、軽油等が連產品ではない。⇒ ほぼガソリンの単独生産が可能。⇒ 灯油・軽油はほとんど生産されない。

- 石油製品：連產品+需要の季節変動が油種により異なる。⇒ 不需用期の油種の大幅価格下落要因(特に灯油を暖房油として使用する日本の固有問題の解消の可能性も)
- ガソリンの単独生産 ⇒ 少くとも灯油・軽油の夏場の下落幅が大幅に縮小する可能性大
- 現状 $G \approx K \approx D$ ⇒ $G < K \approx D$ となる可能性大 ⇒ 国際的な油種格差のが国内でも実現か?

結論「トッパーの過剰感の増大」⇒「更なる設備廃棄」⇒「業界再編は必須。待ったなし」

第三部 中澤塾の拡大開催について

定員25名！ 残席僅か！

塾生以外でも（定員範囲内で）参加いただけます
元売関係者（元職を含む）の参加はご遠慮下さい

- 日時： 2月4日（火）
- 受付 13：00～13：30
- 中澤塾 13：30～16：30
- 会場： 日本教育会館810号室
東京都千代田区一ツ橋2-6-2
- 会費： 12,000円
- 懇親会：5,000円（帝国ホテル）
（中澤塾塾生が懇親会まで参加する場合には15,000円）
（CD-ROMの販売は予定しておりません）

口字の会議室で全編質疑応答！

- テーマ
石油業界再編の行方とSS経営
石油化学工場からのガソリン出荷の衝撃
業転購入と流通証明書
経営者保証ガイドラインについて
第11回中澤塾メール部会
その他

■申込フォーム

ご希望の をチェックしてお申し込み下さい。

中澤塾拡大開催 2月4日（火）

- セミナー参加 名
- 参加費用【12,000円】お一人様
 - 会場：日本教育会館 810号室
 - 受付：13:00～ ●セミナー：13:30～

- 懇親会参加 名
- 参加費用【5,000円】お一人様
 - 中澤塾塾生は【3,000円】お一人様
 - 17:30より、帝国ホテルにて開催

通信欄

- セミナー参加費は当日受付でお支払い下さい。
- メールでもお申し込みいただけます。
ss-seminar@garden-network.co.jp
- メールでお申し込みの際は、懇親会参加の有無をご明記の上、会社名、所在地、参加者名等、このフォームに沿って必要事項をご記入ください。

FAX: 03-5782-8017

御社名

所在地

〒

参加者お名前①

参加者お名前②

電話番号

FAX番号

メールアドレス（可能な限りご記入ください）

@

■会場アクセス

- セミナー会場：日本教育会館 810号室
千代田区一ツ橋2-6-2
TEL03-3230-2833
- 都営新宿線・半蔵門線・都営三田線
《神保町駅》（A1出口）徒歩3分
- 東西線
《竹橋駅》（北の丸公園側出口）徒歩5分

- 懇親会会場： 帝国ホテル
- 帝国ホテルへの移動はタクシーをご利用ください。セミナー会場から1,000円程度です。お声を掛け合ってお乗り合せでお越しく下さい。

